

# 第1章 総説



## 1. 沿 革

- (1) 昭和 23 年 6 月 25 日 奈良県告示第 167 号を以て、奈良市登大路町奈良県庁内に奈良県衛生研究所を設置
- (2) 昭和 28 年 3 月 31 日 奈良県条例第 11 号を以て、奈良市油阪町に庁舎を新築移転
- (3) 昭和 41 年 3 月 30 日 奈良市西木辻八軒町に奈良保健所との合同庁舎を新築移転
- (4) 昭和 46 年 3 月 24 日 奈良市大森町に独立庁舎を新築移転
- (5) 昭和 46 年 5 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、環境公害課、予防衛生課の 3 課を設置
- (6) 昭和 48 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、食品化学課を新設
- (7) 昭和 50 年 2 月 28 日 前庁舎に接して約 1, 276 m<sup>2</sup>の庁舎を新築
- (8) 昭和 62 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、公害課、環境課、食品化学課、予防衛生課の 5 課制に編成替え
- (9) 平成 2 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、大気課、水質課、食品生活課、予防衛生課に編成替え
- (10) 平成 12 年 4 月 1 日 県感染症情報センターを所内に設置
- (11) 平成 14 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、奈良県保健環境研究センターと名称変更し総務課と試験研究グループ（大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当）に編成替え
- (12) 平成 18 年 4 月 1 日 奈良県行政組織規則の改正により、総務課、精度管理担当、大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当に編成替え
- (13) 平成 22 年 4 月 1 日 技術担当を置く
- (14) 平成 23 年 4 月 1 日 技術担当を解く
- (15) 平成 25 年 4 月 1 日 桜井市粟殿に新築移転、奈良県行政組織規則の改正により名称を奈良県保健研究センターに改め、総務課、精度管理担当、食品担当、細菌担当、ウイルス・疫学情報担当に編成替え  
大気環境担当及び水環境担当は奈良県景観・環境総合センター大気係、水質係に編成替え

## 2. 組 織

### 1) 機構と事務分掌 (令和 4 年 4 月 1 日現在)

所 長 一 副 所 長	総 務 課	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 人事・予算・決算及び会計経理に関する事</li> <li>2. 土地建物及び物品の維持管理に関する事</li> <li>3. その他庶務に関する事</li> </ul>
	精度管理担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 企画情報に関する事</li> <li>2. 総合調整に関する事</li> <li>3. 信頼性確保部門の指定職員業務その他精度管理に関する事</li> </ul>
	食 品 担 当	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 食品、食品添加物、食器、容器包装、家庭用品等の理化学的試験研究に関する事</li> <li>2. 食品中の残留農薬、重金属等有害化学物質の試験研究に関する事</li> <li>3. 飲料水等の理化学的検査に関する事</li> <li>4. その他食品衛生の理化学的試験研究に関する事</li> </ul>
	細 菌 担 当	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 食品衛生、環境衛生等の細菌学的検査及び調査研究に関する事</li> <li>2. 病原細菌の検査及び調査研究に関する事</li> <li>3. 細菌学的検査の研修・技術指導に関する事</li> </ul>
	ウ イ ル ス ・ 疫学情報担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. ウイルス等の病原体の検査及び調査研究に関する事</li> <li>2. 感染症情報センターに関する事</li> <li>3. その他ウイルス性感染症等の研修・技術指導に関する事</li> </ul>

2) 職 員 構 成 (令和 4 年 4 月 1 日現在)

区 分	事務職員	技 術 職 員				計
		薬 学	獣医学	理工農学	臨床検査学	
所 長		1				1
副所長(兼)精度管理担当		1				1
総 務 課	2					2
精 度 管 理 担 当	1	1				2
食 品 担 当		5		3	1	9
細 菌 担 当		2	1	4	1	8
ウイルス・疫学情報担当		5		3(1)		8(1)
計	3	15	1	10(1)	2	31(1)

( )は兼務職員

3) 人 事 記 録

退職及び転出

4 . 3 . 3 1 総 務 課 長 山 下 真 紀 子 万葉文化館へ  
 総 括 研 究 員 米 田 正 樹 環境政策課へ  
 主 任 研 究 員 中 野 守 退職  
 主 任 主 事 南 浦 茉 奈 消防救急課へ

転入及び昇格

4 . 4 . 1 総 務 課 長 水 野 博 夫 中和土木事務所から  
 総 括 研 究 員 田 邊 純 子 薬事研究センターから  
 総 括 研 究 員 荒 堀 康 史 産業振興総合センターから  
 主 任 研 究 員 脇 坂 美 世 郡山保健所から  
 主 任 研 究 員 上 床 知 佐 奈 主任技師から  
 主 任 技 師 中 田 千 恵 子 技師から  
 技 師 山 本 紗 也 新規採用  
 技 師 中 野 守 任期付職員

4) 職 員 名 簿

(令和4年4月1日現在)

課・係名	職 名	氏 名	課・係名	職 名	氏 名		
総務課 総務係	所 長	堀 重 俊	細菌担当 細菌チーム	統括主任研究員	内 田 美 枝		
	副 所 長	榮 井 毅		総 括 研 究 員	井 上 ゆみ子		
	課 長	水 野 博 夫		主 任 研 究 員	森 村 実 加		
	(兼)係 長	水 野 博 夫		主 任 研 究 員	松 井 恵梨子		
	主 査	大 野 晴 儀		主 任 研 究 員	井 上 健太郎		
	精度管理担当	(兼)統括主任研究員		榮 井 毅	主 任 技 師	築 山 結 衣	
		総 括 研 究 員		德 田 恵	主 任 主 事	田 中 慶 哉	
		主 査		本 間 美 樹	主 事	井ノ上 美 紅	
	食品担当 食品化学チーム	(兼)統括主任研究員		上 眞佐美	ウイルス・ 疫学情報担当 ウイルス・ 疫学情報チーム	統括主任研究員	山 崎 聖 子
				安 藤 尚 子		総 括 研 究 員	荒 堀 康 史
西 山 隆 之			主 任 研 究 員	美 並 衣 織			
長 尾 舞			主 任 研 究 員	脇 坂 美 世			
中 田 千恵子			主 任 研 究 員	千 葉 翔 子			
中 野 守			主 任 研 究 員(兼)	浦 西 洋 輔			
田 邊 純 子			主 任 技 師	松 浦 侑 輝			
中 永 絵 理			技 師	山 本 紗 也			
竹 田 依 加			技 師	中 野 守			
上 床 知佐奈							
生活化学チーム	総 括 研 究 員	田 邊 純 子					
	主 任 研 究 員	中 永 絵 理					
	主 任 研 究 員	竹 田 依 加					
	主 任 研 究 員	上 床 知佐奈					

### 3. 施 設

#### 1) 土 地

(令和4年4月1日現在)

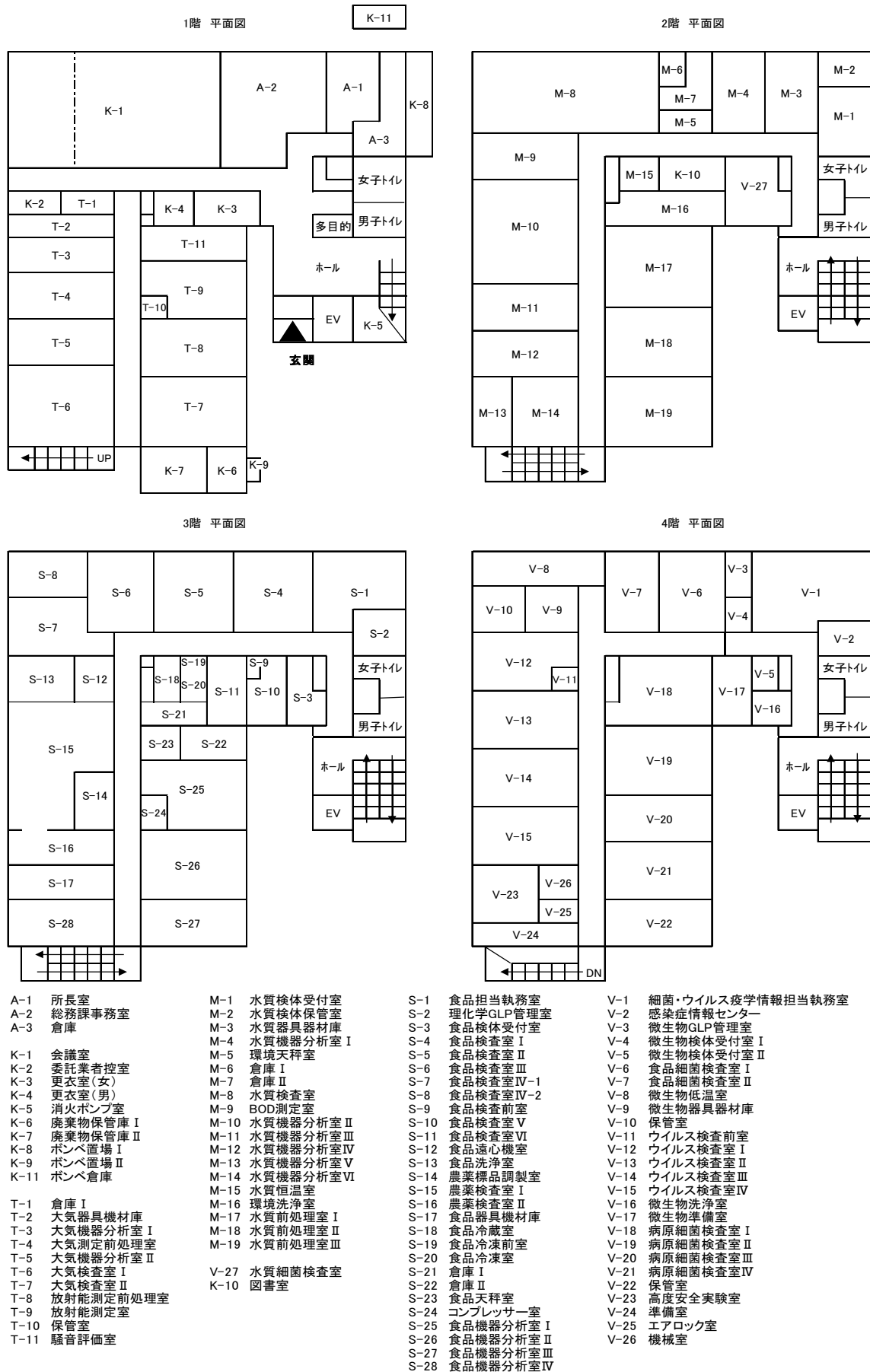
地 名	地 目	面 積	現在の状況	所 有 者
桜井市粟殿 1000 番地	宅 地	3,709.88 m <sup>2</sup>	宅 地	奈 良 県

#### 2) 建 物

(令和4年4月1日現在)

施 設	面 積	使用年月日	建物経過年数	所 有 者
本館鉄筋コンクリート 4階	3,264.17 m <sup>2</sup>	平成25年 4月1日	9年	奈 良 県
(本館 1階)	(860.13)			
(本館 2階)	(786.77)			
(本館 3階)	(786.77)			
(本館 4階)	(786.77)			
(本館 P1階)	(43.73)			
倉 庫	7.00 m <sup>2</sup>	平成25年 4月1日	9年	

### 3) 保健研究センター庁舎配置図



#### 4. 新規購入備品 (単価 20 万円以上)

品名	規格	購入年月日
サーマルサイクラー	バイオ・ラッド T100 サーマルサイクラー	令和 3 年 7 月 5 日
純水製造装置	アドバンテック東洋 RFD240ND	令和 3 年 10 月 28 日
無停電安定化電源装置	ライフテクノロジーズジャパン JP475	令和 3 年 11 月 11 日
核酸自動抽出精製装置	キアゲン QIAcube Connect System	令和 3 年 12 月 22 日
高速冷却遠心機	エッペンドルフ 5910Ri	令和 4 年 1 月 19 日
解析用 PC 一式	DynaBook F8	令和 4 年 2 月 15 日
ステンレス作業台	島津理化 SS1-A12	令和 4 年 2 月 22 日
電気泳動装置	バイオラッド CHEF Mapper XA チラーシステム	令和 4 年 2 月 24 日
遺伝子解析装置一式	イルミナ 次世代シーケンサー iSeq100 システム	令和 4 年 3 月 10 日
薬用保冷庫	日本フリーザー バイオマルチクーラー KGT-4010HC	令和 4 年 3 月 11 日

#### 5. 予算及び決算 (令和 3 年度)

歳入

(単位 円)

款	項	目	節	説明	予算額	収入
使用料及び 手数料	手数料	保健研究 センター 手数料	保健研究 センター 手数料	1. 食品検査	691,560	199,040
				(1) 一般食品検査	492,200	199,040
				(2) 食品細菌検査	199,360	0
				2. 水質検査	3,387,320	148,800
				(1) 飲料水検査	2,589,760	129,960
				(2) プール水検査	797,560	18,840
				3. 細菌検査	1,099,000	242,200



				(1) 結核菌等検査	281,560	165,400
				(2) 培養・同定	817,440	76,800
				4. ウイルス等検査	1,308,960	282,600
				5. 臨床病理検査		
				6. 衛生害虫検査		
				7. その他の試験	961,730	367,840
				8. 証明書発行	2,500	1,250
				計	7,451,070	1,241,730

歳 出

(単位 円)

款・項・目	予算額	支出額	残高
(款) 福祉保険費	69,721,671	62,972,773	6,748,898
(項) 地域福祉費	69,721,671	62,972,773	6,748,898
(目) 保健研究センター費	28,723,600	27,515,363	1,208,237
(目) 地域福祉推進費	40,998,071	35,457,410	5,540,661
(款) 医療政策費	3,434,000	3,207,608	226,392
(項) 疾病対策費	3,434,000	3,207,608	226,392
(目) 疾病対策推進費	3,434,000	3,207,608	226,392

(款) 文化・教育・くらし創造費	11,081,000	10,235,488	845,512
(項) 消費・生活安全費	11,081,000	10,235,488	845,512
(目) 消費・生活安全対策費	10,316,000	9,518,948	797,052
(目) 生活衛生指導費	362,000	320,243	41,757
(目) 動物愛護費	403,000	396,297	6,703
(款) 産業・観光振興費	791,000	790,997	3
(項) 産業政策費	771,000	771,000	0
(目) 産業政策推進費	771,000	771,000	0
(項) 観光費	20,000	19,997	3
(目) 観光振興対策費	20,000	19,997	3
合          計	85,027,671	77,206,866	7,820,805

\*保健研究センター執行分のみ計上（人件費・大型備品・営繕費を含まず）

## 6. 企画情報関連

### 1) 職員の出席した学会、研究会、講習会、研修会等

年・月・日	内 容	開催地等	担 当
R3. 4.14	元素分析基礎セミナー いまさら聞けないシリーズ 蛍光 X 線を用いた元素分析の基礎	オンライン	食 品
4.20	インハウスセミナー HPLC カラムの基礎, HPLC トラブルシューティング, 逆相クロマトグラフィーの分析開発, スムーズな分析法移管のポイント	オンライン	食 品
4.27	もっと基礎からわかるリアルタイムPCRオンラインセミナー	オンライン	細 菌
5.7	さらに活用するリアルタイムPCRセミナー	オンライン	細 菌
5.13	明日から使えるLC基礎講座 ～LCカラムの基礎～	オンライン	食 品
5.17~19	ナノポアシーケンサーによるコロナゲノム解析研修会	オンライン	ウイルス・疫学情報
5.19	さらに活用するリアルタイム PCR	オンライン	食 品
5.21	第 30 回感染研シンポジウム –COVID-19 との戦い–	オンライン	ウイルス・疫学情報
5.21	TOC計の基礎	オンライン	食 品
5.25	明日から使える LC 基礎講座 ～第 2 回クロマトグラフの分類とその選び方～	オンライン	食 品
5.31	環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制の構築に関する研究 令和 3 年度第 1 回班会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
6.2	いまさら聞けない分光技術の基礎	オンライン	食 品
6.9	もっと基礎からわかるリアルタイムPCRオンラインセミナー	オンライン	食 品
6.9~10	衛生微生物技術協議会 第41回研究会	オンライン	細 菌 ウイルス・疫学情報
6.10	明日から使える LC 基礎講座 ～第 3 回質量分析の基礎～	オンライン	食 品
6.14	レジオネラ属菌内部精度管理に関する研修	神戸市	細 菌
6.15	令和 3 年度厚生労働省感染症流行予測調査事業担当者会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
6.22	ダイレクトシーケンス始めてみませんか?	オンライン	食 品
6.22	明日から使える LC 基礎講座～シンプルサンプル前処理～	オンライン	食 品
7. 6	ケルダール分析装置 メンテナンスセミナー	名古屋市	食 品
7.6~7	国立感染症研究所 第5回コロナゲノム分子疫学解析講習会 (iSeq コロナ NGS 講習会)	オンライン	ウイルス・疫学情報
7.8	クロマトグラフィーデータシステム(CDS)の基礎	オンライン	食 品
7.9	アルボウイルス・リケッチアレファレンスセンター等関連合同会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
7.15	島津 LC による分析業務の効率化	オンライン	食 品
7.27	次世代シーケンス 新型コロナウイルスゲノム解析セミナー	オンライン	ウイルス・疫学情報
8.3	環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制の構築に関する研究 令和 3 年度第 2 回班会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
8. 3~4	UPLC-MS/MS (H-Class/Xevo TQ-S micro)トレーニング	所 内	食 品
8.19	国立感染症研究所 第6回コロナゲノム分子疫学解析講習会	オンライン	ウイルス・疫学情報
8.23	これから始める人は必見! 細胞培養のキホンのキ～必要なものからやり方まで～	オンライン	ウイルス・疫学情報

8.26	食品衛生検査 WEB セミナー「カンピロバクター食中毒 コロナ禍の状況と検査法」	オンライン	細菌
9. 1~27	【DVD】 第 14 回放射線物質検査に関する全国研修会	所 内	食 品
9.6	令和 3 年度 動物由来感染症レファレンスセンター Web ミーティング	オンライン	ウイルス・疫学情報
9.8~9	日本防菌防黴学会 第 48 回年次大会	オンライン	細菌
9.15~16	食品ウェビナー Week2021	オンライン	食 品
9.17	第 3 回 SFTS 研究会・学術集会	オンライン	ウイルス・疫学情報
9.24	新型コロナウイルス感染症拡大に向けた地域プラットフォーム形成シンポジウム第 2 回ワークショップ	オンライン	ウイルス・疫学情報
10.6	国立感染症研究所 第 7 回コロナゲノム分子疫学解析講習会	オンライン	ウイルス・疫学情報
10.8	令和 3 年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部ウイルス部会研究会	オンライン	ウイルス・疫学情報
10.15	環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制の構築に関する研究 令和 3 年度第 3 回班会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
10.20~21	令和 3 年度薬剤耐性菌の検査に関する研修（基本コース）	オンライン	細菌
10.22	TOC 計の基礎	オンライン	食 品
10.26~29	パルスフィールドゲル電気泳動法技術研修	大 阪 市	細菌
10.26~11. 9	第 117 回 日本食品衛生学会学術講演会	オンライン	食 品 細菌
11.4	令和 3 年度「地域保健総合推進事業」 全国疫学情報ネットワーク構築会議（録画視聴）	オンライン	ウイルス・疫学情報
11.5	令和 3 年度 地方衛生研究所全国協議会近畿支部自然毒部会 研究発表会	オンライン	食 品
11.5	アルボースセミナー2021	オンライン	細菌
11.10	Genomics Summit '21	オンライン	ウイルス・疫学情報
11.10~11	腸管出血性大腸菌 MLVA 解析研修	大 阪 市	細菌
11.16	機能性成分分析を簡単に～天然物構造解析が抱える課題～	オンライン	食 品
11.16	地方創生フォーラム ～食と産業からの地方活性化	奈 良 市	食 品
11.15~26	第 58 回 全国衛生化学技術協議会年会	オンライン	食 品
11.19	AMED 耐性菌研究班主催講演会「微生物検査、薬剤感受性検査 なぜ、ISO 規格文書が重要か？」	オンライン	細菌
11.19	令和 3 年度 地方衛生研究所全国協議会近畿支部細菌部会研究会	オンライン	細菌
11.26	第 65 回生活と環境全国大会共催行事「全国環境衛生職員団体協議会・事例研究発表会」	オンライン	細菌
11.26	アニサキスを中心とした寄生虫性食中毒に関する技術講習会	オンライン	ウイルス・疫学情報
11.30	COVID Spotlight ～PCR プローブの LC 分析と精製～	オンライン	食 品
12.2	オンラインセミナー「ピペットの使い方 応用編」	オンライン	細菌
12.2	第 3 回 Hospital Water Hygiene 研究会学術集会	オンライン	細菌
12.3	第 25 回近畿耐性菌研究会特別講演会	オンライン	細菌
12.13	令和 3 年度 地方衛生研究所全国協議会 近畿支部理化学部会 研修会	オンライン	食 品
12.14	シンポジウム新型コロナウイルス感染症	オンライン	ウイルス・疫学情報

12.15	オンラインセミナー「ピペットの使い方基礎編」	オンライン	細菌
12.16	オンラインセミナー「天秤を利用したピペットの日常点検と簡易点検ソリューション」	オンライン	細菌
12.17	環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制の構築に関する研究 令和3年度第4回班会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
12.22	STQ法ガイドブック徹底解説 第1回(再)【残農】	オンライン	食品
R4.1.12~14	次世代シークエンサー技術研修会	東京	ウイルス・疫学情報
1.18	微生物検査セミナー「覚えておきたい真菌検査のコツ」	オンライン	細菌
1.20	日水製薬オンラインセミナー「食品の無菌試験およびセレウス菌検査法」	オンライン	細菌
1.21	令和3年度衛生理化学分野研修会	オンライン	食品
1.21	令和3年度地方感染症情報センター担当者会議(録画視聴)	オンライン	ウイルス・疫学情報
1.24~25	検査機関に対する検査能力・精度管理等の向上を目的とした研修	オンライン	細菌
1.27~28	第35回公衆衛生情報研究協議会総会・研究会	オンライン	細菌 ウイルス・疫学情報
2.2	実験動物管理者等研修会	オンライン	ウイルス・疫学情報
2.4	令和3年度感染症情報センター・NESID担当者意見交換会	オンライン	ウイルス・疫学情報
2.4	令和3年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部第36回疫学情報部会研究会	オンライン	ウイルス・疫学情報
2.7	奈良県公設試験研究機関 内部発表会	オンライン	食品
2.3	LAMP法の原理について 臨床におけるLAMP法の活用	オンライン	細菌
2.4	令和3年度地方衛生研究所全国協議会近畿支部 第36回疫学情報部会研究会	オンライン	細菌
2.15	HPLC分析法の高速化のポイント ~日本薬局方の意見公募を受けて~	オンライン	食品
2.17~18	令和3年度希少感染症診断技術研修会	オンライン	細菌 ウイルス・疫学情報
2.18	日本食品衛生学会ブロックイベント 西日本ブロック合同企画 食品に関するリスクコミュニケーション公開セミナー 「残留農薬のリスク管理の動向とマリントキシン」	オンライン	食品
3.10	これでダメなら修理行き? 「マイクロピペット修理の見極めと修理依頼方法」	オンライン	食品
3.10	環境水を用いた新型コロナウイルス監視体制の構築に関する研究 令和3年度第5回班会議	オンライン	ウイルス・疫学情報
3.16	統合本部報告会	オンライン	食品
3.16~18	第56回日本水環境学会年会	オンライン	細菌

(各担当：精度管理，食品，細菌，ウイルス・疫学情報)

## 2) 施設見学

年・月・日	見学者	人数	担当
R3.6.30	和歌山県庁及び和歌山県環境衛生研究センター	10名	各担当

(各担当：食品，細菌，ウイルス・疫学情報)

## 3) 当センター職員を講師とする講演会，技術・研修指導

### (1) 講演会

年・月・日	会等の名称	内容	発表者
R3.11.19	地方創生フォーラム ～食と産業からの地方活性化	食の安心・安全を支える「地方衛生 研究所」	食品 担当：上

### (2) 研修指導

年・月・日	内容	対象者	人数	担当
R3.10.5～8	令和3年度奈良県立医科大学 公衆衛生学実習	奈良県立医科大学医学部 4年生	5名	副所長

## 4) 奈良県保健研究センター研究発表会

### (1) 令和3年6月25日

新型コロナウイルス感染拡大防止のため，開催を中止した。

### (2) 令和4年2月25日

発表者	発表演題
中田 千恵子	自然毒食中毒原因究明のための遺伝子解析による高等植物の種鑑別
上床 知佐奈	鶏の筋肉および鶏卵中のテトラサイクリン系抗生物質の一斉試験法の検討
築山 結衣	リアルタイム PCR を活用した腸管出血性大腸菌の検査について

## 5) 保健研究センターホームページによる情報提供

平成 13 年 2 月 1 日より奈良県保健環境研究センター（当時）のホームページを公開し、情報提供を行っている。平成 25 年 4 月 1 日より大気、水質に関する環境部門が分離され、保健研究センターホームページとなったが、引き続き当センター研究発表会の概要を掲載する等情報提供を行った。

ホームページのアドレス（令和 4 年 4 月 1 日現在）

奈良県保健研究センター：<http://www.pref.nara.jp/4827.htm>

## 6) 夏休みこども科学教室

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催を中止した。

## 7) 奈良県公衆衛生学会への協力

奈良県公衆衛生協議会が主催する「奈良県公衆衛生学会」は、新型コロナウイルス感染症をめぐる状況を踏まえ、開催中止となった。

## 8) 信頼性確保業務

### (1) 食品関係試験検査事業

「奈良県食品関係試験検査業務管理要綱」に基づく食品関係試験検査業務の信頼性確保のため、「内部点検」、「精度管理」、「外部精度管理」を実施している。

#### ① 内部点検

理化学検査 2 項目、細菌検査 1 項目について実施し、結果は全て「適切」であった。

#### ② 精度管理

理化学検査（延べ）33 項目、細菌検査 1 項目について実施し、結果は全て「良好」であった。

#### ③ 外部精度管理

一般財団法人食品薬品安全センターの外部精度管理調査に毎年参加している。

理化学調査	クロルピリホス フェニトロチオン
	ソルビン酸
	栄養成分検査（基本項目＋食物繊維）
微生物学調査	E.coli 検査
	黄色ブドウ球菌検査

(2) 感染症関係試験検査事業

「奈良県保健研究センター病原体等検査業務管理要領」に基づく病原体等検査業務の信頼性確保のため、「信頼性確保試験」、「外部精度管理」を実施している。

① 信頼性確保試験

細菌に関する検査 3 項目、ウイルスに関する検査 1 項目について実施した。

② 外部精度管理

i) 厚生労働省精度管理事業に参加した。

課題 1	新型コロナウイルスの次世代シーケンシング (NGS) による遺伝子の解読・解析
課題 2	新型コロナウイルスの核酸検出検査 (リアルタイム RT-PCR 法)

ii) 厚生労働科学研究各研究班等が実施した精度管理研究に参加した。

厚生労働科学研究	レジオネラ属菌検査精度管理サーベイ
厚生労働科学研究	結核菌遺伝子型別外部精度評価
国立感染症研究所 インフルエンザ・呼吸器 系ウイルス研究センター	ウイルス分離培養・同定技術の実態調査

9) 健康危機事象模擬訓練

「健康危機発生時における近畿 2 府 7 県地方衛生研究所の協力に関する協定書」に基づき、滋賀県衛生科学センターの企画により実施された健康危機管理事業（令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、理化学部門を対象とした精度管理事業を実施）に参加した。

令和 3 年 9 月 3 日（金）に送付された検体について、所内で必要な検査を実施し報告を行った。令和 4 年 2 月 4 日（金）にオンラインにより開催された疫学情報部会研究会における精度管理事業報告会に参加した。



## 10) 外部評価制度

### (1) 外部評価制度の導入

調査研究業務に客観的かつ公正な評価を加え、調査研究の充実とその成果の普及を図ることを目的に、平成19年度から外部評価制度を導入している。

外部評価委員 (令和3年4月1日現在)

	氏名	所属
委員	矢野 寿一	奈良県立医科大学
委員	多賀 淳	近畿大学
委員	須崎 康恵	奈良県立医科大学
委員	山田 誠	龍谷大学
委員	上田 佳代	京都大学

### (2) 令和3年度評価対象となった調査研究

担当	主任研究者	課題名	共同研究者
食品	竹田 依加	総アフラトキシン検査体制の確立と実態調査	中永 絵理 上床知佐奈 南浦 茉奈

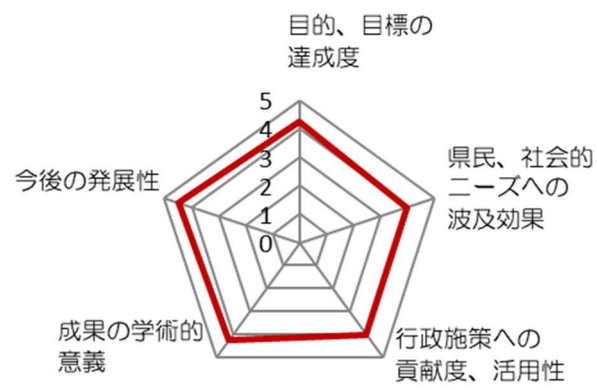
### (3) 外部委員による総合評価 (※ 同時実施の奈良県景観・環境総合センターの調査研究への評価を含む)

- ・コロナ禍で継続した分析をきちんとできているところに大きく感動した。
- ・せっかくすごいことをされているので、もっとここが新しい、ここが他とは違うということをもっとアピールしてほしい。
- ・いろんなバックグラウンドをお持ちの方へ、わかりやすい説明を加えると、より理解が深まると思う。
- ・県内で生活に欠かせないものに問題がないのかという視点で、実態調査を行われていることに奈良県民としては大変嬉しく思う。
- ・ぜひ、これからも引き続き行っていただければと思う。

### (4) 外部委員による個別評価

外部委員による評価は、①目的・目標の達成度、②県民・社会的ニーズへの波及効果、③行政施策への貢献度、活用性、④成果の学術的意義、⑤今後の発展性の観点から行われる。

それぞれについて、5段階評価で行い各委員の平均で表した。



総アフラトキシン検査体制の確立と実態調査